



上風連中

令和7年4月7日 校長 北見 将嗣

思考～よく考え、行動する生徒
健康～強い身体と意志をもつ生徒
友愛～助け合い、みがきあう生徒
勤労～進んで働く生徒
礼儀～礼儀正しい生徒

頑張りすぎない

誤解を恐れずに言えば、「頑張りすぎない」ことも大切だと思います。こう言うと、「手を抜く」とか「頑張らない」という風にネガティブに聞こえるかもしれませんが、あくまでも「すぎない」であって、頑張らないわけではありません。私は過去にいた職場で、頑張りすぎて心や身体を壊してしまい、休職したり退職した先生を見てきました。真面目な人ほど頑張りすぎて、心や身体に変調をきたすように思います。では、真面目にやらなければいいのかというと、そうではありません。時には「真面目」を面白くないとかカッコ悪いと見る人もいますが、「真面目」は評価され、活かされるべき個性であり長所だと思います。なのに頑張りすぎることで、その長所が活かされず、持続できなくなるのはもったいないと思うのです。

上風連中学校の生徒たちはみんな、「真面目」に努力できる生徒たちです。昨年度も様々な場面でたくさんのカッコいい姿を見せてくれました。ただ、時には「頑張りすぎてないかな？」と心配になることもありました。頑張ることは悪いことではありませんが、心や身体の元気を失ってまで頑張る必要はありません。つらい時には休んでもいいし、時には弱音の一つも吐いていいと思います。そして、元気になったら、また歩き出せばいいのです。前に進むスピードは人それぞれですが、それを受け入れ、お互いを認め合い、助け合いながら成長できる学校でありたいと思います。今年度、教職員が減りましたが、学校としてはそれを言い訳にしたいとは思いません、少ないからこそその利点を生かし、教職員一丸となって環境を整え、生徒を支え、見守っていきます。

保護者の皆様におかれましては、昨年度、行事をはじめ様々な場面で協力していただき本当に感謝しております。今年度も引き続き協力していただけたらと思いますが、PTAの活動が「負担」に感じるようになると（実際は負担と感じてないと思いますが）長続きしないので、「頑張りすぎず」に、できることをできる範囲で協力していただければ幸いです。

新入生2名を迎え、新学期のスタートです。「頑張りすぎない」ことを大切にしつつ、生徒、保護者、教職員だけでなく、上風連中学校に関わる全ての人々が、心身ともに健康に過ごせる1年となることを願っています。